2023(令和 5)年度　エリザベト音楽大学事業計画

創立 75 周年に相応しい学生・教職員が協力・連携した大学運営体制の確立

2022 年度もまた新型コロナウイルスの対応に追われましたが、継続して PCR 検査・抗原検査等の積極的活用、ワクチン接種支援金の支給などを行うとともに感染対策を十分に実施した結果、年間をとおして対面授業を行うことができました。定期演奏会（10 月）ならびに学内発表及びクリスマスコンサート（12 月）は予定どおり開催し、卒業・修了関連行事も無事終えることができました。また、2022 年度入学生から新カリキュラムを適用し、全学生の豊かな学びの実現のために旧・新カリキュラムともに学修内容の精選と充実を図りました。これまでどおり、イエズス会教育理念及び行動標語「音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる」に基づく大学教育を行い、円滑な運営に努めて参ります。

2023 年度の重点事項として、2024 年度外部認証評価受審を視野に入れた内部質保証体制を確立した大学運営、学修成果の可視化をともなう新カリキュラムの定着及び改善、創立 75 周年記念事業推進、国際交流活動再開、学生募集及び広報活動の活性化等が挙げられます。これらを学生・教職員が連携して、一丸となり実施する所存です。

（１）経営面の計画

１）建学の精神、教育理念の実現のために

①研修会・種々の行事他をとおしてイエズス会教育精神を学ぶ。

②カトリック諸団体との連携をとおして、建学の精神・教育理念の実現を目指す。

③学生・教職員がアジアのカトリック学校の状況を知り、慈善演奏会の実現を目指す。

２）大学教育、学生募集への取り組み

①学士課程新カリキュラムについて、PDCA サイクルにより改善を図りつつ軌道に乗せる。

②本学の優れた教育、新カリキュラムや教員の演奏研究等の魅力を発信するとともに大学独自の奨学金の広報に努め、学生募集活動に効果的に活用する。

３）長期計画に沿った将来計画の策定

①施設・設備補修計画に基づき年度毎の補修を実施する。

②長期計画の後半に入り、修正した財政計画に基づき、最善方策を追求する。

③次期長期計画を検討し、決定する。

４）国際交流の推進

①新型コロナウイルス及び国際情勢を考慮しつつ、国際交流事業、学生の留学支援、留学生の受け入れ等を活性化させる。

５）内部質保証体制の確立

①第 3 期認証評価受審（2024 年）のための自己点検評価書の作成、教育の質保証に関する教学マネジメント体制の構築、学修成果の可視化等全学的な課題に取り組む。

６）創立 75 周年記念事業

①創立 75 周年記念事業を着実に実施する。

（２）教学面の計画

１）教学改革について

〔音楽学部〕

①2022 年度入学生から適用を開始した教育課程における講義内容の継続的な精査を行い、卒業後の進路を見据えたプログラムの実質化を図る。

②「学士課程の 3 つのプログラム」及び「ソリスト奨学生」を念頭に入れ、「修士課程との 5 年プログラム」の活用及び新カリキュラムの学修からの展開など、大学院との連携の在り方を検討する。

③感染症への対応について国の方針や世界情勢等を視野に入れ、学生及び教員が日頃の成果を発表する演奏・発表の場を創出する。

④IR 委員会が中心となり、学生の学修及び学生生活等のデータを収集・分析し、大学運営・広報に活用する。

⑤2022 年度より実施及び公表が義務付けられた教職課程自己点検評価について、教職課程委員会は継続して行う。

《音楽文化学科》

①新カリキュラムから開始したプログラム制を生かし、段階的で効果的な学びの構築に取り組む。

②音楽文化学科の学びの魅力を学外に幅広くアピールする機会を積極的に設け、入学志願者増につながる体制を強化する。

③幼児、親子を対象とした社会貢献活動として音楽を楽しむ場を、引き続き提供する。

④ICT 機器を利活用する教育者の育成を目指して、実践的な教育を展開する。

《演奏学科》

①2 年目となる実技学修システム及び履修プログラムの円滑な稼働と検証を行う。

②教員の演奏技能維持及び研究業績拡充を図るために学内外での演奏活動を支援し、入学志願者へのアピール力を強化する。
③学内での演奏会のみならず地域貢献活動としての学外演奏に、学生が円滑に参加できるためのサポートを学科教員全員が協力して取り組む。

〔大学院〕
①オンライン等による留学生入学試験を継続して行い、海外からの留学生を確保する。
②大学院カリキュラム改訂に向け、検討内容をさらに具体化する。
③学士課程からの内部進学者増につながるよう、大学院での学びをアピールできる取り組みを進める。
④著名な演奏家や研究者などを招き、公開講座・公開レッスンを実施する。

２）学生生活支援について
〔学生生活〕
①学生の人間的成長と自立を促すため、各種行事を実施し、学生主催行事を支援する。
②悩みを抱えた学生、学修不振者、障がいをもった学生について面接等で状況を把握し、内容により学事部学生生活、学生生活主幹、ホームルーム担任、レッスン担当者、学生相談担当、看護師等と連携して支援する。
③合理的配慮に関する諸規程施行に際して、合理的配慮への理解を醸成し、必要な取り組みを進める。
④教職員が連携して指導・支援を行い、休学者、退学者の減少に努める。

〔就職・進学サポート〕
①学生一人ひとりの卒業、修了後の進路について、キャリア支援室、キャリアサポート委員会、学生生活センター室長、教養・教職主事、ホームルーム担任等が連携して、学生のニーズにあった支援を行う。特に教職を目指す学生については、教養・教職主事との連携を深める。
②学年別の進路オリエンテーション、対面形式あるいはYouTubeを活用した先輩の体験談伝達をとおして、計画的に活動スケジュールを知らせるとともに学生自らがキャリアについて考える機会を提供する。
③早期に将来に向けての準備をするために、1年次から「進路希望調査」を行い、3年次、4年次には全学生との面談を行う。日本学生支援機構奨学生（給付型、貸与型）には、早期から就業に対する意識を醸成するための面談機会を増やす。

３）国内及び国際交流
〔国内外の交流〕

①国内（外）のカトリック大学及び団体等との連携・交流活動・事業を計画し、実行する。
②学外における留学生支援イベント等での留学生の演奏活動の実施。
③ASEACCU 国際会議及び国際交流に関するオンラインワークショップに参加する。

〔国外交流協定校との交流事業〕
①クリスマスコンサートの目的をアジアのイエズス会学校に対する支援として実施する。
②コロナ後の世界状況を考慮しつつ、アジアの協定校においてマスタークラスレッスン・演奏会等を計画し実施する。

４）学生募集活動及び広報活動について
〔学生募集活動について〕
①教職員による様々なチャンネルからの情報収集を継続的に深く行う。高校訪問、出前授業、音楽指導者とのコンタクト、進学関連業者による高校内での進路ガイダンス、各種音楽セミナー、コンクール、演奏会、ネット媒体などから、鮮度の高い情報を収集し募集活動に生かす。
②コロナ禍が新しい段階に入るため、2022 年度に開始した大学広報代行業務の委託員（エリアパートナー）の活動をより充実させるよう連携を深め、成果を追求する。新しい地域でのエリアパートナーを増員し、広範囲での継続的な学生募集業務を展開する。
③進学ガイダンスについては、2022 年度よりも会場を増やし、中四国・九州エリア 18 都市で実施する。主要会場ではコンサート・大学説明・レッスン・個別相談を行い、他会場ではレッスン・個別相談（説明）を行うことを基本とするが、リモートでのレッスン及び個別進学相談にも希望に応じて対応する。昨年度の反省を生かし、日程を約 1 か月早めて 4 月下旬から開始する。
④オープンキャンパスは、夏（6 月・7 月・8 月）、秋、翌春（スプリングフェスティバル）の予定で実施する。予約制による来場者の把握を行うが、自由参加が可能な企画については、コロナ前の状況に戻す。遠方からの来場に対する交通費補助は原則継続する。
⑤受験生等の要望に応じて、学内見学、ホール体験、進学相談（対面及びリモート）を通年で対応する。
⑥同窓会との連携を深め、各地域での情報をより多く収集できる様に働きかける。

〔広報活動について〕

①広報誌（大学案内、エリザベトアイ他）の制作と配布、各種 SNS（Facebook、LINE、インスタグラム）及び大学 WEB サイトでの情報発信により、継続的に大学の魅力を伝える。

②ガイダンスの日程に合わせて大学案内の作成を繰りあげ、新年度の初めより新しい大学案内を使用して積極的に広報活動する。

③エリアパートナーと連携し、広範にわたる情報発信を行う。

④学生募集につながる外部団体（広島県合唱連盟、全日本ピアノ指導者協会、全日本吹奏楽連盟他）との関係強化により大学の魅力発信と情報収集を図る。

⑤広島県、広島市、東広島市、教育ネットワーク中国等各種団体の主催イベントに協力する。

⑥同窓会と連携し、全国に広がる卒業生ネットワークを活かした情報発信に取り組む。

⑦キャンパスリポーター他学生による大学情報の発信を支援する。

５）教職員研修(SD・FD)について

①自己評価・ＦＤ運営委員会が中心となり、ゴーセンス記念講演（4 月）、教職員研修会（9 月）、その他 FD・SD 研修会及び授業参観等を継続して計画・実施する。

②教職員を研修会等（オンライン研修を含む）へ積極的に参加させ、そのフィードバックを共有することにより研修の成果を多くの教職員の業務に生かす。

③第 3 期認証評価受審（2024 年）のための自己点検評価書の作成、精査及び内容把握を専任教職員全員で行うことを目的とした研修会を開催する。

６）創立 75 周年記念事業

①創立 75 周年記念事業として、夏期ピアノ国際セミナーをドイツで実施する。

②毎年、宗教合唱曲を国内外の作曲家に委嘱する事業を継続し、創立 75 周年記念『宗教合唱曲集 Vol.Ⅱ』を 2023 年 11 月に刊行する。

③創立 75 周年ドイツ・ベルギ―演奏会を 2024（もしくは 2025）年度夏に実施するための計画を推進する。

④創立 75 周年記念誌を 2023 年 11 月に刊行するための執筆、制作を行う。

７）演奏活動

①創立 75 周年を記念し、大学主催演奏会はその冠を付す。記念事業に相応しい演奏会となるように、学生・教職員が一丸となって実施する。

②専任教員がソリストを務め広島交響楽団と共演する「創立 75 周年記念コンサートシリーズ」の第 2 回目と 3 回目の演奏会を実施する。

【2023 年度エリザベト音楽大学コンサートスケジュール】

日　程	演奏会名・行事名・会場・出演者
〔3/18(土)〕	第 6 回エスポワール新人演奏会　(くらしき作陽大学　聖徳堂ホール) (エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学間包括交流協定事業) ※両大学が交互に担当する演奏会で、2023 年度は、くらしき作陽大学が当番校。従来 4 月に開催していたが、2023 年以降、3 月の開催に変更。
6/16(金)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズⅠ(セシリアホール) 「スピリチュアルコンサート」 合唱委嘱作品(三浦則子先生)初演、室内楽作品(川上統先生)披露予定
9/13(水)	同窓会中部支部との共催コンサート(仮称)(名古屋)
9/21(木)	秋季大学院新人演奏会(セシリアホール)　出演:秋季修了生から選抜
10/29(日)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズⅡ(ザビエルホール) 「イラーチェク・フォン・アルニン，ヤン客員教授レクチャーコンサート」
11/20(月)	第 82 回定期演奏会(セシリアホール) 声楽ソロ:オーディションによる選抜学生 指揮:下野竜也　演奏:エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団
11/23(木祝)	創立 75 周年記念演奏会 Vol.2(セシリアホール) 合唱委嘱作品(細川俊夫先生)初演 オルガン:福原之織、声楽:羽山弘子、ピアノ:志鷹美紗、 ヴァイオリン:甲斐摩耶 指揮:下野竜也　演奏:広島交響楽団
12/9(土)	チャリティークリスマスコンサート(セシリアホール) 指揮:大谷研二、寺沢希 演奏:エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団
3/7(木)	春季大学院新人演奏会(セシリアホール)　出演:春季修了生から選抜
3/10(日)	・卒業研究発表・演奏会　音楽文化学科(ザビエルホール) 出演:卒業生から選抜 ・卒業演奏会　演奏学科(セシリアホール)　出演:卒業生から選抜
3/16(土)	創立 75 周年記念演奏会 Vol.3　(セシリアホール) 共催:(公社)日本産業退職者協会広島支部 ピアノ:垣内敦、声楽:折河宏治、フルート:万代恵子 指揮:飯森範親　演奏:広島交響楽団
3/23(土)	第 7 回エスポワール新人演奏会　(セシリアホール)

（3）管理面の計画

1）施設設備改修と建物長期計画について

①建物の長期更新計画に基づき計画的な施設設備改修する。

2）委託業務(清掃、寮管理、西条管理、その他）について

①業務内容の検証及び再検討を継続して行う。

3）西条キャンパスの将来計画(土地、建物、設備）について

①西条キャンパスの在り方や活用について、幟町キャンパス校舎建て替えとあわせて検討する。

4）女子学生寮（セシリアホーム）の管理運営について

①「学生寮セシリアホーム規則」に則り安心・安全な寮生活について徹底するとともに、実態の確認を行いながら改善点を見つけ、指導を徹底して、寮生活の質の向上を図る。

②委託業者による寮監との連携を行うことにより、寮生活全体の充実を図る。

5）付属音楽園・エクステンションセンター事業について

①園生獲得の取り組みを継続する。

②受講生が見込めるエクステンションセンター講座を開発する。

6）財務について

①１号館(セシリアホール)及び本館の建て替えに備え、基本金積立の原資の確保に努める。

②経常収支差額の確保のため、教育活動収支における赤字の削減を図る。

以上